

2025年1月31日

城北信用金庫

外国送金取引における
国際標準フォーマット化（ISO20022 準拠対応）に関するお願い

平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて、世界各国の金融機関に対して金融取引に関するメッセージング・サービスを提供する Swift（国際銀行間通信協会）は、2025年11月までに外国送金で使用する電文について、国際標準フォーマット（ISO20022 書式）への対応を求めています。

当金庫においても、新フォーマットに関する対応を順次予定しております。2025年1月現在で想定される外国送金取引への影響およびお客さまへのご依頼事項について、下記の通りご案内をさせていただきます。

記

1. 当金庫の ISO20022 対応時期

2025年5月頃(予定)

※送金取引の依頼形態（店頭・FAX・WEB）により、異なる場合があります。

2. 外国送金取引の主な変更点

種 別	ISO20022 対応にともなう変更点（お客さまへのお願い）
仕向送金	【住所情報の「構造化」】 送金資金の受取人等の住所情報を、「構造化（細分化）」することが求められています。 <u>住所情報は、国名・都市名等を区分した形でご依頼いただく形式になります。（次葉参照）</u>
	【「Swift コード」等】 <u>送金資金の受取人取引銀行等を特定する「Swift (BIC) コード」等の記載が原則必須になります。</u> 送金は、「Swift コード」等により発信されます。（銀行名欄・同住所欄の情報は発信されません。） ※欧州・中近東等宛の送金で「IBAN コード」が分かる場合は、当該コードを記載してください。「Swift コード」に優先して送金が行われます。なお、「IBAN コード」記載の場合も「Swift コード」は併記願います。
被仕向送金	ISO20022 フォーマットの電文で当金庫宛到着した送金は、原則現行の取扱い方法と変わらずお客さまの口座へご入金させていただきます。

3. ISO20022 フォーマットの概要

(1) ISO20022 とは？

ISO20022 は、ISO（国際標準化機構）が定める金融通信メッセージの国際標準規格です。2023年3月以降、Swift 電文の従来フォーマットに代わり、各金融機関で順次使用されています。

(2) ISO20022 のメリット

外国送金で使用される Swift 電文のフォーマットは、これまで大きな変更が行われなかった為、増加する送金情報への対応が困難となっていました。

ISO20022 フォーマット移行（電文内容の「構造化」）により、大量の送金データを迅速・正確にシステム処理できる他、マネー・ローンダリング対策の強化等が期待できます。

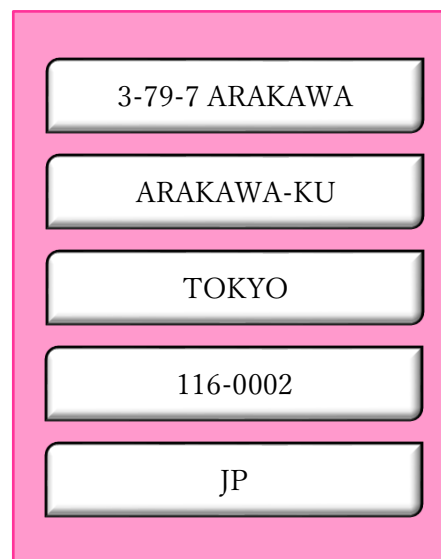
(3) Swift 電文における住所欄「構造化」のイメージ

(例) 送金資金の受取人住所：東京都荒川区荒川3-79-7（城北信用金庫本店）

【従来のフォーマット】



【ISO20022 フォーマット】



※お客さまが当金庫へ外国送金を依頼する際、従来、受取人等の住所情報（①国名、②州名・省名・都道府県名、③都市名、④番地等）について、単一の住所欄に記載いただいていたのですが、ISO20022 対応にともない、国名・都市名等を項目毎に区分けすることが求められます。（住所欄の「構造化」）

詳細につきましては、決まり次第順次ご案内をさせていただきます。

以上



城北信用金庫

Johoku
Shinkin